

菅内閣の目玉政策「デジタル庁」が動き出した。これからデジタル化の波が我々の暮らしの中にどんどん入り込んでくる。便利になる反面、スマホやマイナンバーカードなどを取得、マスターせねばならない。これにうまくついていかないと、幾多の便宜が受けられず、置き去りにされてしまうかも知れない。呆けないための最高のクスリにもなると考え、積極的についていこうと思う。

【 マイナンバーカード 】

先日、ある手続きで「印鑑証明者」を忘れ、近くのコンビニのマルチコピー機からマイナンバーカードで発行して事なきを得た。これまでマイナンバーカードはあまり利用していなかったが、大事な時に助かった。

現在マイナンバーカードは、住民票など証明書のコンビニ取得や、e-tax、ポイント還元、身分証明利用などでまだまだ利用価値が少なく、普及率 20%程度だが、2021 年 3 月からは「健康保険証」と一体化され、さらに「運転免許証」との一体化や銀行口座とのひも付けなども予定されている。政府としては、このマイナンバーカードの普及をデジタル化の第一の目標に挙げている。

【 スマートフォン 】

今、老若男女問わずいたるところで「スマホ」とにらめっこしている光景を目にする。スマホで何ができるか、何が便利か、何が面白いのか、何が楽しいかをあげてみた。

1. 携帯電話、メール機能。とくに「LINE」が便利。
2. インターネットを楽しむ。・・・検索機能、ニュース、YouTube 動画など。
3. カメラ・ビデオカメラの機能。もうデジカメは不要？
4. ラジオ（テレビ）の機能
5. 本や雑誌を読む（電子書籍）
6. 地図、カーナビ機能
7. 音楽を楽しむ（音楽プレーヤーとして）
8. ゲームを楽しむ
9. ネットで買い物。（ネット通販）
10. キャッシュレス決済。

その他、各種アプリを入れて、使い方、活用はきりが無い。

このスマートフォンが、これからのデジタル化の中心媒体、必須アイテムとなる。

デジタル庁では、2022 年度中にスマートフォンに「マイナンバーカード」機能を一体化させ、スマートフォンを使って行政手続きをオンラインで行える世の中を実現するとしている。これからのデジタル時代は、「スマートフォン」ひとつで、行政手続きから確定申告、身分証明、健康保険証、運転免許証、お薬手帳、診察券、国家資格証などほとんどのことが順次出来るようになる。さらに、粗大ごみ収集の申し込みや病院のオンライン予約、タクシー配車など、日常生活で利用する機会が多い手続きにも広げる考えのようだ。国政選挙も、スマホから投票なんて時代が来るかも知れない。

今からスマホに慣れて、デジタル時代に置き去りにされないようにしたい。

【 キャッシュレス決済 】

キャッシュレス決済を利用すると 2 ～ 5%のポイントが還元される消費税還元制度が昨年から今年にかけて実施された。当初は何かややこしそうで、セキュリティーは大丈夫か等疑問や不安があったが、やってみたら思いのほか簡単、便利、快適。すっかりスマホ決済にハマってしまった。

「PayPay」を例にすると、まずアプリをダウンロードして携帯電話番号と好みのパスワードを入力。すると入力した携帯番号宛てにメッセージが届く。そのメッセージ内にある4桁の認証コードを入力して新規登録完了。2段階認証でセキュリティーも安心。

現金もクレジットカードも不要で、スマホ一つで買い物ができるのはなかなか快適だ。

買い物やお金の管理は奥さんにまかせているというケースが多いかも知れないが、ぜひ自ら「パソコン、スマホでの買い物とお金の管理」をお勧めしたい。呆けないための、健康長寿の秘訣かと思う。デジタル庁では、スマートフォンのキャッシュレスで、財布の要らない世の中を目指している。

【 ID、パスワード 】

「じいちゃんの 敵は段差と パスワード」・・・ 去年のシルバー川柳にこんな句があった。

ID、パスワードは、銀行で例えると、IDは銀行口座番号、パスワードは暗証番号といえる。このID、パスワードを忘れることが多い。これを本人以外に知られてしまうと大変な被害にあってしまうこともある。決して忘れないようにして他人にわからないように管理する必要がある。ID、パスワード帳を作っておくといい。

さあ、これからどんなデジタル時代がくるか。現在分かっている工程表では、マイナンバーカードと健康保険証の一体化は2021年3月から、スマホに「マイナンバーカード」機能を一体化させるのは2022年度中、運転免許証とマイナンバーカードの一体化は2024年中とある。さらに、操作に不慣れな高齢者を支援するために2021年5月以降全国各地で講習会を開き、すべての国民がデジタル化の恩恵を受け取れるようにしている。

このように、これからは「マイナンバーカード」と「スマホ」が必須アイテムとなります。そこで、我がOB会として、ホームページ上で「スマホ・なんでも教室」のコーナーを設けスマホに関する情報を提供していく予定です。ぜひ世の中の流れに置き去りにされないようについていこうではありませんか。我がパソコンサークルも、「デジタル活用サークル」などに改称してデジタル化活用を勉強していく必要があるかも知れません。

(2020/12/20)